

令和4年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和4年5月18日（水） 15時10分～16時30分
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 203 教室、205 教室 浜松キャンパス トコハホール
講演内容	「私立大学を取り巻く現状と課題」
講 師	日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 林 剛史参事
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス 183 人 静岡瀬名キャンパス 18 人 静岡水落キャンパス 66 人 浜松キャンパス 124 人 合 計 391 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和4年度第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。研修会の講師には、日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センターの林剛史参事をお招きし、「私立大学を取り巻く現状と課題」についてご講演いただいた。まず、18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移について説明があり、人口減少（特に少子化）の加速が顕著であり、それゆえに大学間の競争が起こり、選別がされる時代になったとのことのお話があった。他面、今日の少子高齢化社会の到来は、建学の理念に基づいて特色ある教育に取り組み、それぞれの個性化を目指すという私学本来の目標に向けて、私立大学が自己改革を行うよい機会との見方もできる。

続いて、私立大学をめぐる政策とこれまでの現状について「志願者数等の増減状況」「規模別の動向」「地域別の動向（学校別）」「系統別の動向（大学：学部）」の4観点について、私立大学に関わる政策等の変遷の説明があった。教学面として「教学マネジメント指針」「質保証システムの改善・充実」、経営面として「学校法人制度改革」という私立大学における社会に対する説明責任や運営の透明性の確保への着実な取り組みが必要である。

最後に、今後の取り組みとして、私立大学法の一部改正に基づき、特に将来を見据えた経営判断や、教学と経営の一体化を図るため、認証評価の結果を踏まえた中長期計画の策定が求められる。すなわち「中期計画に基づく数値目標」及び「中期計画の見直し（どのように存在感を示すのか等）」が求められる。それに伴い、大学の戦略と教職員の意欲を連動させたプランを着実に実現していくことのできる大学づくりが、今後の大学経営にとっては重要な課題となることが示された。